

令和8年度常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 令和8年 9月4日 (金) 10:00～11:30
会場 : 常磐公園
出席者 : 市内在住の市民 7名
旭川市土木部公園みどり課 3名
旭川市公園緑地協会 1名

I 開催内容

- 1 開会
- 2 自然更新ゾーンの確認
- 3 日本庭園ゾーンのアジサイ周りの除草作業
- 4 自然更新ゾーンから移植した樹木の現況確認及び樹名板の設置
- 5 意見交換
- 6 閉会

II 開催結果

別紙報告書のとおり

令和8年度常磐公園の緑を考える集い 開催結果

1 自然更新ゾーンの現況確認

常磐公園の緑を考える集いの集合場所から近くに位置する自然更新ゾーンの確認から作業を行いました。自然更新ゾーンを見てみると、背の高い棘のある植物が生い茂っているのが確認されました。その場で調べたところ「アメリカオニアザミ」という外来種であることが分かりました。自然更新ゾーンは人目につく場所にあり、棘が多く危険であることから撤去した方が良いとの意見がありましたので後日、公園みどり課でアメリカオニアザミの除草を行うこととしました。



(自然更新ゾーン確認中の様子)



(アメリカオニアザミ)

2 日本庭園ゾーンのアジサイ周りの除草作業

続いて、日本庭園ゾーンのアジサイ周りの除草作業を行いました。スギナを中心とした雑草を除草しましたが、全ての雑草は抜かずに草を残しておくことで土壌の温度の保持につながるというお話があり、多少の雑草は残したままにしました。除草作業後はあじさい周りがかかなりスッキリ見えるようになりました。また、日本庭園ゾーンの除草前にあじさいを植えた経緯等の説明があった方が良いという意見を頂きましたので次回の集いの進行に活かしたいと思います。

今後も日本庭園ゾーンならびに令和5年に西さんから提供頂いたあじさいの維持管理を適切に行い、集いの中であじさいの定期的な観察をしていけたらと思います。



(除草状況)



(除草後の日本庭園ゾーン)

3 自然更新ゾーンから移植した樹木の現況確認及び樹名板の設置

令和6年度に自然更新ゾーンから移植したハルニレの木1本とカツラの木1本の現況を確認と作成した樹名板の設置を行いました。集い開催前の確認時点で残念ながら、ハルニレの一本が枯死してしまっていることが確認されたため、残りのカツラとハルニレに作成した樹名板を設置しました。



(移植木確認の様子)



(カツラ)



(ハルニレ)

4 意見交換

<提起事案>

1. 今後の常磐の集いのあり方について
2. 今後の自然更新ゾーンについて

<意見交換結果>

1. 今回の集いのように常磐公園内を散策しながら、体を動かしての活動も良いが、一度、常磐公園の今後のあり方についての話し合いが出来る場を設けてほしいとの意見がありました。このことから冬の期間に話し合いの場を設けることを検討していきます。
2. 新しく別の場所に自然更新ゾーンを作ってはどうかという意見が出ましたが、現在の常磐公園内で自然更新ゾーンとして場所を設けるとしても大木が密集しているため日が当たらず、成長が不良となる可能性があるとの説明をしました。自然更新ゾーンの増減等については今後も常磐公園の緑を考える集いの中で検討していくこととしました。